

介者 輝け 駆除ウニ ランプに

高浜小6年 活用策提案、商品化へ



ランプ案の商品化が発表され、喜ぶ児童たち=15日、高浜小

高浜小6年生が考えた駆除したムラサキウニの有効活用案が15日、発表された。10案の中から投票で最多得票となった、ウニの殻を使ったランプの商品化に取り組む。地元のまちづくりグループ「高浜明日研究所」（明日研）とともにキャッチコピーやロゴ、パッケージ作りを進め、来年2月の商品化を目指す。（川上桂）

ムラサキウニは、海の生き物を育む藻場を食べ荒らす厄介者で、駆除しても身が少なく捨てられている。同校は明日研とともに地域課題の解決を考えるプロジェクト「コドモノ明日研究所」を立ち上げ、6年生が10班に分かれ活用アイデアを考案。10月15日に後輩の児童や保護者

らにプレゼンテーションし、同校や公民館、イベント会場で商品化してみたい案への投票を呼び掛けた。

同校で明日研の名里裕介共同代表が投票結果を公表。約400票の投票があり、ランプ案が最多の160票を獲得した。今後、町内の事業者に作ってもらうか、児童らで作るか検討。

児童はキャッチコピーや商品の説明カード、ロゴマーク作りに取り組む。

ランプ案を考えた班の杉

（同町のシーフードマーケット）のUMIKARAで販売してほしい」と期待を膨らませる。一和奏多さんは「パッケージやロゴマークをしっかりと考え方売れるようになりたい」と意気込んだ。

同校と明日研は昨年も同プロジェクトに取り組み、児童考案のブドウ果汁を使ったゼリータルトが商品化された。

左近大志君は「商品化が楽しみ」と喜ぶ。常盤七海さんは「選ばれてうれしい。